

提出順	9	発言順	12	令和5年11月29日 午前・午後 2時35分受領
-----	---	-----	----	-----------------------------

(2 枚中 No. /)

令和5年11月29日

(宛先) 安曇野市議会議長 松枝 功

安曇野市議会議員

小林 純子

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和5年安曇野市議会12月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	20分
<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()			
担当部長 <input checked="" type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉部 <input checked="" type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()			
質問事項	会計年度任用職員制度の問題点を直視し 公(安曇野市)からまっとうな雇用を		

質問の要旨 (具体的に記載してください)

人口減少・少子高齢化等の社会経済情勢の変化のなかで、行財政基盤の強化と効率化を目的として平成の大合併が推進され、その流れの中で安曇野市も誕生した。財政安定に向けて人件費を削るために正規職員を減らし、かわりに非正規職員を採用してきた。

2005年の合併当時、安曇野市の正規職員860人に対し非正規職員は545人。2009年には男女別のデータで非正規職員は男性73人・女性559人、合計632人に増加。事務職員や保育士、教員、カウンセラーや相談員、図書館司書、調理員などが非正規に置き換わってきたが、増えた非正規職員のほとんどが女性である。「官製ワーキングプア」は女性の労働問題として社会問題化するなか、今年度の正規職員は735人まで減り、非正規職員は726人へと増加しており、住民サービスの低下につながりかねない状況が見える。

自治体における非正規職員の任用適正化・待遇改善等を目的として、2020年度から会計年度任用職員制度が導入されたが、残念ながらその目的が達成されたとは言い難い。住民サービスを支える非正規職員の「まっとうな雇用」を実現していかない場合には、住民の暮らしを守ることはできないという観点から、以下に質問する。

1. 住民サービスを担う市政の支え手である非正規職員(会計年度任用職員)の「まっとうな雇用」を実現していかなければ、住民の暮らしを守ることはできないという観点について、市長の見解は

提出順	9	発言順	12	令和5年11月29日 午前・ <input checked="" type="radio"/> 後 2時35分受領
-----	---	-----	----	--

(2枚中No.2)

令和5年11月29日

(宛先) 安曇野市議会議長 松枝 功

安曇野市議会議員 小林 純子

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和5年安曇野市議会12月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	20分
■市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()			
担当部長 ■総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 ■福祉部 ■保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 ■教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()			
質問事項	会計年度任用職員制度の問題点を直視し 公(安曇野市)からまっとうな雇用を		

- 2、正規職員を減らし非正規職員(会計年度任用職員)に置き換えてきたことで、住民サービスの低下を招いているような状況はないか ※総務部ほか、福祉部、保健医療部、教育部に質問する
- 3、本市では、非正規職員(会計年度任用職員)の任用更新について市独自の規定を設けているが、そこをさらに進めて適材適所で有能な人材を長期的に任用できるようすべきではないか
- 4、市政の支え手である非正規職員(会計年度任用職員)が不安定雇用であることは、最終的には深刻な社会問題につながるという問題意識を持ち、市としてできる限りの処遇改善に向けて取り組むべきではないか
- 5、人事院勧告及び県人事委員会勧告をふまえた本市の会計年度任用職員の給与・報酬及び手当の引き上げについて
- 6、地方自治法の一部改正(令和6年4月1日から施行)に伴う、パートタイムの会計年度任用職員に対する勤勉手当の支給について